



情報交流館カメラでは、まず初めにデジ
カメ講習会を開きました。参加者は携帯電話
のカメラから本格一眼レフまでさま
ざまなカメラを持参しました



末松廃寺跡公園の金堂跡で能楽鑑賞会が行われ、
野々市能楽愛好会の皆さんが舞っていました

▼【写真は「野々市なんでも百景コンテスト」 野々市の桜部門
応募作品から「枝垂桜と八重桜と中島翁」 H.Hさん】

午前中は晴れていたものの、昼が
近づくにつれ、雲がだんだん増え、
空模様は怪しくなってきました。「せ
めて能楽が終わるまで雨よ、降らな
いでくれ」。参加した人たちがみんなの
願いがかなって、雨がポツリポツリ
と頭に当たりだした午後2時過ぎに
は、すべての予定を終えていました。



元町長・中島栄治氏の
銅像が故郷の太平寺一
丁目に建っています

えふえむ・エヌ・ワンは野々市町5万人市制を応援しています

末松の大寺に桜満開。史跡で能楽を 堪能しながら撮影を楽しみました

野々市町などから約60人の老若男女が参加して4月13日(日) 「のっディdeいにしえの桜だより&デジカメ撮影会」

和同開珎、あります。

今 47年前に、野々市町末松で銀
銭が発見されたというニュース
は、石川県内はもちろん、全国か
ら注目されました。これに目を付けたのは、
当時の野々市町長・中島栄治さんでした。

当時の中島町長が 依頼し銘菓誕生

「野々市を代表する銘菓を作ってくれない
か」。町長からこう頼まれたのが、本町3丁目
で「花茶屋菓子舗」を営む魚住慎一さんです。

魚住さんが試行錯誤を繰り返して作ったのが
銘菓「和同開珎」でした。上品な甘さの餡あん
の中にモチが入った最中で、銀銭を発見した
高村誠孝さんも気に入って、時折、買い求め
に店に顔を出しました。
50年近く前に銀銭が発見され、しばらくの
間は一種の和同開珎ブームになりました。
「ブームが去った今は、野々市町の名産品キウ
イフルーツを使ったキウイ大福ほどに売れて
いません」と残念がる魚住さんです。しかし、
野々市町の出身で東京などに移り住んだ人か
ら定期的に注文があるなど、町内外に根強い
ファンがいます。



取材・文/FM-N1 末松大寺取材班(宮崎正倫、梅岡和也、山口泰範)
取材でお世話になった方々/吉岡康暢(国立歴史民俗博物館名誉教授)・坪井清足(元興寺文化財
研究所所長)・新谷秀夫(高岡市万葉歴史館総括研究員)・横山貴宏(野々市町教育委員会文化財
担当専門員)・魚住慎一(花茶屋菓子舗店主)・高村宏(高村経営技術相談所代表)
参考文献/平川剛「新視点古代史・日本の原像」(小学館)・坪井清足「飛鳥の寺と国分寺」(岩波書
店)・佐藤信「日本の古代」(放送大学)・白石太一郎「考古学と歴史」(同)・浅香山木「古代地域史の研
究」(法政大学出版局)・村上恭通「倭人と鉄の考古学」(青木書店)・富奥郷土史、野々市町史(資料編
1 考古・古代・中世) =敬称略=

放送と通信が融合

6月16日(予定)から、トップページ
上部のアイコンをクリックして頂くと、インターネットでもFM-N1の番
組を聴くことができます

FM-N1ホームページ <http://fmn1.jp>

| 魅力の音楽コンテンツ | 放送時間 |
|----------------------|-------------------------|
| ♪ PMCサウンド・ガーデン | 月～金 AM 5:00～ (再)PM9:00～ |
| ♪ 回って歌って80年 | 月～金 AM 6:00～ (再)PM3:30～ |
| ♪ 新筆マイ・ディア・ソング | 月～金 AM 7:00～ |
| ♪ 小さな喫茶店でアルバム聴けば | 月～金 AM 8:30～ (再)PM5:15～ |
| ♪ 桜の小径でララバイ | 月 PM12:00～ (再)土PM2:00～ |
| ♪ こそあのオールティーズ! | 金 PM12:00～ |
| ♪ 定期入れの片想い | 金 PM1:00～ (再)土AM8:30～ |
| ♪ KIT PMC ミュージック・ハット | 土・日 AM10:00～ |
| ♪ PMCミュージック・インプレッション | 土 PM3:00～ |
| ♪ ウインド・プラス・コレクション | 土 PM6:00～ |
| ♪ ブロークン・タイムマシン | 日 PM6:00～ |

※平成20年6月1日現在。災害緊急放送などにより番組の一部が変更になることもあります

ア誕生

FM-N1をWebで聴く!



野々市町を情報発信の基地に
株式会社 えふえむ・エヌ・ワン

〒921-8512 石川県石川郡野々市町高橋町24-2
TEL 076-248-1212
HP <http://fmn1.jp> E-mail fmn1@fmn1.jp

野々市なんでも百景コンテスト

2次評価 特別部門 「野々市の桜」部門 入選作品

「第2回野々市なんでも百景コンテスト」の特別部門として実施した「野々市の桜」部門に、91作品の応募がありました。審査の結果、太平治さんの作品「満開」が優秀作品に選ばれました。

なお、他8点の入選作品や応募作品は、のいちタウン情報局 (<http://www.e-camellia.jp/>)と、下記の作品展でご覧ください。

- 野々市なんでも百景 ～野々市の桜～
- 平成20年6月7日(土)～6月29日(日)
- 情報交流館カメラ 3階 ギャラリー



桜の魅力賞 「満開」 太平治

シルエットで切り取られたアーチ状の天井がフレームの役割を果たしているステキです。額縁の効果満点で桜が引き立って見えます。

桜の話題賞 入選(3作品)

- 「桜の向こう側には…」 Nonoichi
- 「桜の木の下で」 知咲
- 「御経塚馬場川沿いの桜」 カントク

桜の応援賞 入選者(5作品)

- 「街灯に映える！」 Nmaehata
- 「さくら公園にて…」 Nonoichi
- 「花冷え」 Nmaehata
- 「桜色の場所」 知咲
- 「桜のじゅうたん踏んでみませんか」 after-five



お母さん方の心配をよそに、こども能楽教室の生徒たちは堂々と「羽衣」と「老松」を舞っていました



「うまく舞えたかなあ？」
FMN1が「能楽師のタマゴ」たちにインタビュー



桜に囲まれた廃寺跡公園にスポーツマットを敷いて、いただきま〜す。もちろん、全部ゴミは持ち帰り。町が誇る史跡公園をきれいにしましょうね



C5 計画

【C5計画実行委員会】

町情報文化振興財団 町連合町内会
町教育委員会 (株)えふえむ・エヌ・ワン
熊登印刷(株) のいちバス(株)
カメラ・パルの会

C5計画とは

「シー-ごけいかく」と呼びます。平成22年を目標とした野々市町5万人単独市制の実現に向けて、流入などによる人口の増加を促進し、さらに定住化意識を盛り上げるため、5つのメディアが中心となり、各種のイベントなどで「知り、再発見」した魅力ある野々市町の情報を積極的に発信します。

- コミュニティバスのっティ
- まちづくりイベント
- のいちタウン情報局
- 全戸配布の情報紙
- ラジオ番組制作・放送

5つのメディア

- BUS
- EVENTS
- WEB
- FREE PAPER
- RADIO



イベントの主人公は参加者、そして、名脇役は「のっティ」です。カメラから末松廃寺までの往復には、もちろん、のっティを利用しました



4

月13日の日曜日、「のっティd e いにしえの桜だより&デジタル撮影会」(主催/野々市の5万人単独市制を応援する「C5計画実行委員会」)が行われ、野々市町はもちろん、金沢市や白山市などからも参加して行われました。参加者は、大学生から60歳代までの老若男女約60人。
昨年11月の「のっティd e 町内探訪ツアー」に続く2回目のこの催し。参加者はカメラを手に、午前は末松廃寺の解説や能楽鑑賞会、午後からは木呂川の七つ橋渡りなどを楽しみながら撮影しました。前回のイベントに続いて、野々市町の歴史を学びながら自然に触れ、参加者からも好評でした。
イベントの様様を写真でまとめました。

えふえむ・エヌ・ワンは野々市町5万人市制を応援しています

FM-N1がウェブで聴ける 日本で初のメデ



第2回 野々市なんでも百景コンテスト

野々市町内の歴史やユニークなスポットなどを撮影し、ポータルサイトへ投稿してもらった「第2回 野々市なんでも百景コンテスト」。この2次評価を実施し、優秀作を選出しました。今回は87作品の応募があり、また今回のみ特別に設定した「野々市の桜」部門へは91作品の応募がありました。次回の評価、第3次評価を現在、受付中です。今回の締切は7月31日。あなたも「野々市の魅力」を撮影し、この紙面を飾りましょう。

2次評価 結果発表

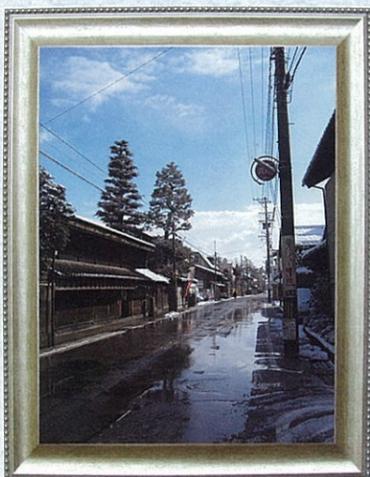


*応募方法などコンテストの詳細情報は、「ののいちタウン情報局」でご案内しています <http://www.e-camellia.jp/>



「のっティ、白山を背に雪道を走る」 ノリ2

評 よくあるような冬の白山である。が、手前の道路を走るのっティが新鮮さを与えてくれる。両者とも野々市町を代表するモチーフであるものの、狙いすましたアングルであろう。町民の足となって健気に走るのっティに「頑張れよ」と白山が声を掛けている。



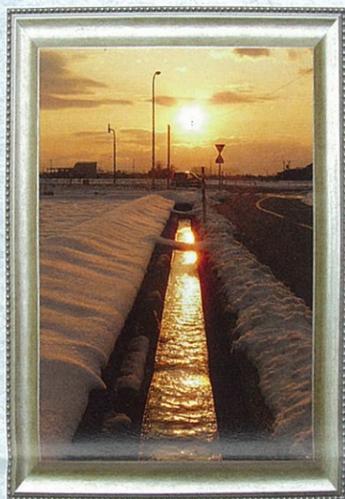
「冬の本町通り」 Nonoichi

評 喜多記念館前の北国街道である。雨上がりの一瞬のシャッター・チャンスを逃さなかった。雨に濡れた路面と青空の対比が印象的である。構図的に小さくまとめた喜多家のたたずまいが落ち着きをみせている。空に伸びた二本の大樹が印象的である。



「北国街道の椿」 kazume

評 北国街道沿いの交差点脇で身を乗りだすように咲く椿は野々市の町花である。この街道は、奥に見えるつばき大通りと交差し、「北国街道」の標柱も立っている。写真に写っているのは一輪だけが、本町一帯の風情を一身に背負っているようである。

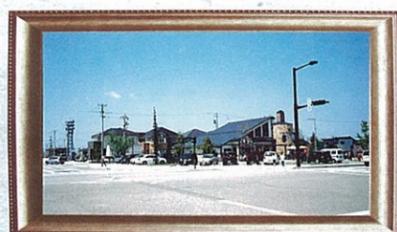


話題賞

「夕映え」 宮波 正行

評 雪の積もった土手の間を、黄金色に輝く用水が流れていく。水面の漚が相手を崩しているようである。冬のモノクロの世界を割って走る用水は、古代から手取川扇状地にもたらした豊稔の恵みを「のっ市人」に、こころも約束しているようである。

魅力賞



「田園都市の街角」 H.H

評 野々市町役場前の交差点である。これまで庁舎の方にだけ目が向いていたが、背中にはこんな素晴らしい光景が広がっていたのである。商業集積が急テンポに進むが、青空と路面を広く配したのが利いている。電線もなく、異国の景色のようである。



「冬の高橋川」 Nonoichi

評 なんでも百景コンテストではもはや、定番になりつつある高橋川のポイントである。桜の名所として有名であるが、雪に彩られた表情もまた、いい。四季を通して見てみたいポイントである。桜に勝る風景があるかもしれない。



「からし菜満開」 宮波 正行

評 いっぱいに広がるからし菜の黄色に、ハッとさせられる。知られざる風景を教えられた気分である。ただ、撮影場所から察すると、周囲には商業ゾーンが広がっていると思われる。反対方向からレンズを向けた方が、野々市町らしかったのではないだろうか。



「冬の中央公園」 Nonoichi

評 これまで応募のあった中央公園の作品の中でも秀逸ではなかるうか。池には薄氷が張っているみたいである。若い人たちの街、石川県の中でも活気にあふれる町、として知られているが、できるものなら水墨画として一幅の掛け軸にしてみたい。



「雪とビルとツバキ」 ノリ1

評 高橋川のともとにある「せせらぎ公園」の椿である。枝に積もった雪から顔をのぞかせているのが可憐さを引き立てている。バックに見えるのは金沢工業大学のライブラリーセンターであるが、もう少し周辺の公園を入れてほしかった。

応援賞

中島商店は野々市町5万人市制を応援しています

nakasima

Next紙ing



たとえペーパーレスの時代になっても、人が伝えたいと言う気持ちを失わない限り、私たちの歴史も続きます。創業1863年、和紙からOA機器、エコ商品・機器まで。中島商店はこれからも、自然環境を含めて次世代へ手渡すべきものを大切にしながら、人と人の心がかよいうコミュニケーションをお手伝いしていきたいと思っています。

株式会社 中島商店

取締役社長 中島 秀雄

- 本社 〒920-0906 金沢市十間町8-1 TEL.076-261-8281(代) FAX.076-221-9225
- 西金沢事業所 〒921-8054 金沢市西金沢1-111 TEL.076-242-8320 FAX.076-245-7683
- 森本センター 〒920-3116 金沢市南森本町ホ41-1 TEL.076-258-4080 FAX.076-258-5917

<http://www.nakasima.co.jp>

